



Japan Mobility Show

ジャパンモビリティショー2025
プロモーション・サポートメニュー



一般社団法人日本自動車工業会
JAPAN MOBILITY SHOW 事務局



JAPAN MOBILITY SHOW について

1954 東京・日比谷公園で第1回「全日本自動車ショー」として開催、当時は乗用車よりもトラックやバスなどの商用車であり、まだ自動車一般家庭に普及しておらず、自動車の展示が珍しかったため、多くの来場者を集めた。



1955 第2回開催

1956 第3回開催

1957 第4回開催
「PRセンター」にて自動車デザインを取り上げ、「自動車なんでも相談室」を開設、宣伝の場から商談の場へと進化を遂げた年であった。



1958 第5回開催

1959 第6回開催

1954~
歴史の始まり

1960~

1970 第17回開催、1954年から毎年開催される。はじめて輸入車が本格的に参加。インターナショナルショーとしてデビューをした。

1964 第11回開催
これまでの「全日本自動車ショー」を「東京モーターショー」に改める。東京オリンピック開催を契機に、国内のインフラ産業の発展が加速し多様な車両が紹介されるようになる。



1963 第10回開催

1962 第9回開催

1961 第8回開催

1960 第7回開催

1971 第18回開催

1972 第19回開催

1973 第20回開催
記念すべき20回開催と共に2年に1回のイベントへと変化した。

1975 第21回開催

1977 第22回開催

1979 第23回開催
1970年代には日本車が世界市場で急速に認知され始め、東京モーターショーも国際的なイベントとして注目されるようになった。日本の自動車メーカーは省エネ技術や排ガス規制に対応したエコカー技術に注力し燃費向上技術が展示。

1970~ 国際的な発展

未来的なコンセプトカー

1980~

1989 第28回開催
平成へと年号が変わったこの年、東京モーターショーは第6回以来、30年来の開催地、晴海から千葉県・幕張メッセへと会場を移した。同施設のこけら落としイベントとなった第28回ショーのテーマは「自由走。ハートが地球を刺激する」。

1987 第27回開催

1985 第26回開催

1983 第25回開催

1981 第24回開催

1991 第29回開催
「発見、新関係。人・くるま・地球。」がテーマ。来場者数は東京モーターショー史上はじめて200万人を突破したが、15日間への期間変更や開場時間の延長により、来場者そのものの分散化が図られた。課題を克服しつつあった電気自動車も注目された。

1993 第30回開催

1995 第31回開催

1997 第32回開催

1999 第33回開催

1990年代になると東京モーターショーは環境問題やエネルギー効率が大きなテーマとなり、ハイブリッドカーや電気自動車などの環境対応車両が注目を浴びました。1997年にはトヨタがプリウスを発表し、ハイブリッドカーの実用化が進むと同時に、多くの自動車メーカーがエコカー市場に参入しました。

1990~ 近代化と環境対応

IT技術の進化

2000~

2009 第41回開催

2007 第40回開催
「新・総合ショー」として、10年ぶりに開催形態を変更し開催され、エンターテインメント性を高めた参加・体験型の特別イベントを充実させ、来場者に「クルマの夢、楽しさ、素晴らしさ」を体感いただいた。

2005 第39回開催
1954年の第1回全日本自動車ショーから50年という節目の年に開催された第39回

2004 第38回開催

2003 第37回開催

2002 第36回開催

2001 第35回開催

2000 第34回開催

2011 第42回開催
これまで行っていた幕張から東京ビックサイトへ開催場所を変更。

2013 第43回開催

2015 第44回開催

2017 第45回開催

2019 第46回開催

自動運転やAIの活用など、次世代の技術に焦点を当てた展示が増え、この時期、電動化とともにカーシェアリングやMaaS (Mobility as a Service) の概念も注目され、自動車産業の枠を超えたモビリティの未来が議論されるようになりました。

2010~ デジタル革命と自動運転

2023 Japan Mobility Show

東京モーターショーから
JAPAN MOBILITY SHOWへ
ワクワクする未来を、創出していくための『共創プラットフォーム』として始動



Japan Mobility Show
Bizweek
企業同士をマッチングさせて事業共創を加速させる、ビジネスイベント

Meet-up Box



2024
未来を創る、仲間づくりの場

2025

第48回目となる2025年ショーテーマ
「ワクワクする未来を、探しにいこう！」

Japan Mobility Show

第1回:1954年 - 第46回:2019年
TOKYO MOTOR SHOW
『自動車総合展示会』



東京モーターショー
のDNAを引き継ぎ

Since:2023年

Japan Mobility Show

ワクワクする未来を、創出していくための

『共創プラットフォーム』

モビリティ社会に向けて
未来の共創
豊かで夢のある
モビリティ社会へ

モビリティ
の魅力訴求
産業・機能・体験
多角的な魅力訴求

新しい仲間
スタートアップ
他産業の巻き込み

モビリティ産業 の拡張

オールジャパンで
モビリティ産業を成長させていく



MISSION

社会的使命

日本経済を元気にし

日本の未来にワクワクする人を増やす

VISION

目指すべき姿

オールジャパンで取り組む

日本の明るい未来を生み出す
共創プラットフォーム

VALUE

行動方針

新しい仲間をつくろう

これからの未来についてはなそう

そして、みんなと一緒に未来をつくろう

ビジネスイベント

**Japan Mobility Show
Bizweek**

モビリティ社会構築に向けて
企業同士の連携強化を図るコミュニティイベント

『未来を創る、仲間づくりの場』

ターゲット

2B：モビリティ関連事業社
2C：モビリティ事業従事者/モビリティ情報をいち早く感じたい人

ショーケースイベント

Japan Mobility Show

ビジネスイベントでの企業同士の繋がり継続と
生活者へモビリティの未来を伝えるショーイベント

『未来のワクワクを、探しに行く場』

ターゲット

2C：未来のモビリティシーンをいち早く感じたい人
2B：これから仲間になる新たなモビリティ関連企業



交互に実施

ビジネスマッチングプラットフォーム

Meet-up Box



ビジネス商談

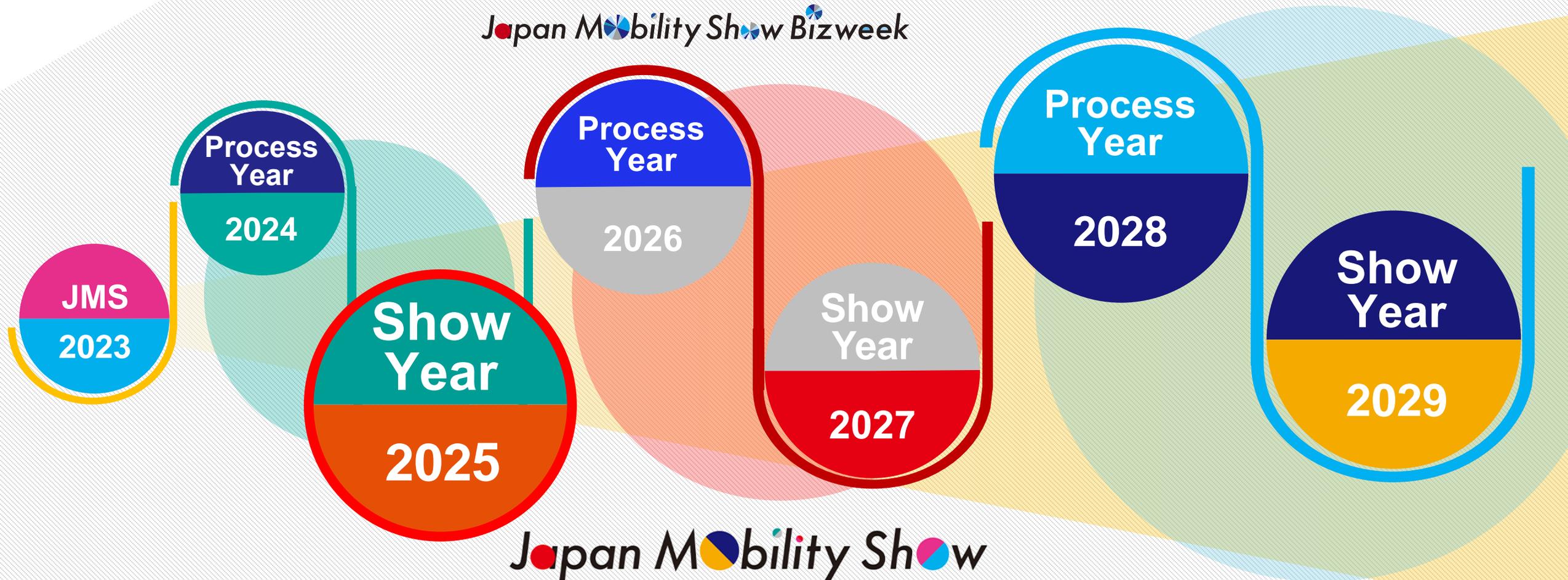


ビジネス共創

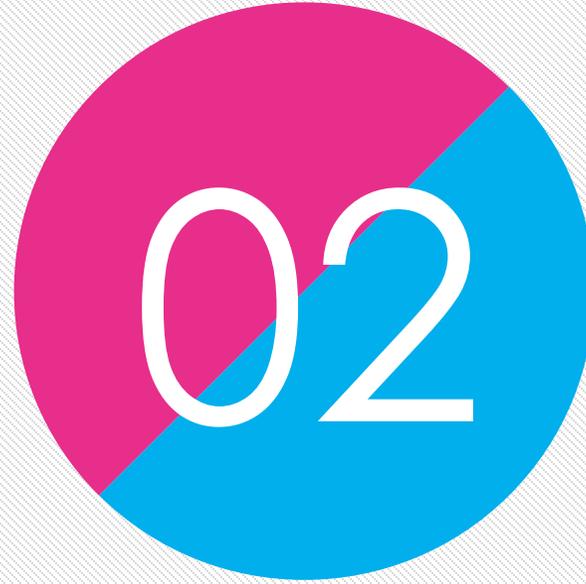
未来のモビリティ社会構築に向けて実態あるビジネス共創を推進する企業同志の集まる場

2年をワンパッケージにした継続的な活動として毎年開催

Japan Mobility Show Bizweek



Japan Mobility Show



JAPAN MOBILITY SHOW

2023 / 2024 実績

Tokyo Future Tour

(モビリティの未来実演ショー)



A large circular graphic with a red top half and a dark blue bottom half. The top half contains the text 'Tokyo Future Tour' and '(モビリティの未来実演ショー)'. The bottom half shows a photograph of the event stage with 'Tokyo Future Tour' banners and an audience.

Japan Future Session

(トークショー)



A large circular graphic with a dark blue top half and a white bottom half. The top half contains the text 'Japan Future Session' and '(トークショー)'. The bottom half shows a photograph of a panel discussion with five people seated at a stage with a 'Japan Future Session' backdrop.

お笑い LIVE
音楽 LIVE
ラジオ 公開放送

H₂ Energy Festival



A circular graphic with a pink and blue background. It features the text 'お笑い LIVE', '音楽 LIVE', and 'ラジオ 公開放送' in small circles, and 'H₂ Energy Festival' in a larger font. The background shows a crowd of people with their hands raised.

トミカ
TAKARA TOMY



A circular graphic with a yellow and white background. It features the text 'トミカ' and 'TAKARA TOMY' in bold letters. The background shows a display of colorful Tomica toy cars.

キッズニア
KidZania



A circular graphic with a blue background. It features the text 'キッズニア' and 'KidZania' in bold letters. The background shows a photograph of the KidZania play area.

モータースポーツ
(屋内・屋外)



A circular graphic with a dark grey background. It features the text 'モータースポーツ' and '(屋内・屋外)'. The background shows a photograph of a Mitsubishi Lancer Evolution rally car on a track.

e-Motor sports
真剣勝負
メーカー対決戦
BRIDGESTONE
TIME TRIAL



A circular graphic with a yellow and black background. It features the text 'e-Motor sports', '真剣勝負', 'メーカー対決戦', 'BRIDGESTONE', and 'TIME TRIAL'. The background shows a photograph of an e-Motor sports race.

軽トラ市



A circular graphic with a teal background. It features the text '軽トラ市'. The background shows a photograph of a kei truck market.

Personal
Mobility Ride
(屋外)



A circular graphic with an orange background. It features the text 'Personal Mobility Ride' and '(屋外)'. The background shows a photograph of various personal mobility vehicles.

Startup Future Factory

(スタートアップ企業)



A large circular graphic with a blue background. It features the text 'Startup Future Factory' and '(スタートアップ企業)'. The background shows a photograph of a man presenting on a stage with a large screen displaying 'Advantages' and 'Data'.

2023年の様子はこちら：<https://2023.japan-mobility-show.com/gallery/>



2023年の様子はこちら：<https://2023.japan-mobility-show.com/gallery/>



ビジネスマッチング
Promotion of corporate
co-creation

Meet-up Box

事業会社とスタートアップによる
ブース出展
Find New Business Partners



スムーズで効率的な
商談が可能に！



未来モビリティ会議
Discussions for Our Future



Japan Mobility Show
Bizweek 2024



車両展示



Future Mobility Forum

Japan Mobility Show Bizweek



Japan Mobility Show

2023年実績

- 会期：23年10月26日(木)-11月5日(日)
- 会場：東京ビッグサイト

参加企業数	約 500 社 <small>過去最高を記録</small>	スタートアップ 約 100 社	主催者企画の参加 約 200 社
来場者数	約 111 万人 <small>来場者属性</small>		
	29歳以下男女 39.1%	就労比率 77.5%	新規来場率 22.4%
	東京23区居住 36.6%	家族/友人 74.2%	外国籍 4.2%
メディア露出	約 23,000 件	各メディア露出内訳 TV番組：約300件 新聞：約1700件 WEB：約21,000件	来場プレス数 約10,000人
経済効果	約 1,000 億円		
マッチング件数	約 430 件		

Japan Mobility Show Bizweek

2024年実績

- 会期：24年10月15日(火)-10月18日(金)
- 会場：幕張メッセ CEATECと併載

参加企業数	約 203 社	事業会社 58 社	スタートアップ 145 社
	<small>重工業・建設業・電気・IT・情報・通信産業などの新規企業も参加</small>		
マッチング件数	約 900 件	→	事後アンケートでの推計値 約 2,000 件
商談件数	約 400 件	→	事後アンケートでの推計値 約 1,700 件
業務連携	約 100 件ほど発生中 (アンケートでの推計値)		
メディア露出	約 1,400 件		
	Meet-up Box		
登録企業数	約 1,000 社	事業会社：450社 スタートアップ：300社 その他：250社・団体	
登録事業数	約 2,000 件	※24年11月時点	

2023年：約23,000件

メディア露出

2024年：約1,400件

Japan Mobility Show

Japan Mobility Show Bizweek



NHK_NEWS



NHK_首都圏NEWS



NHK_首都圏ネットワーク



TBS_Nスタ



日本テレビ_every



日本テレビ_DayDay



NHK_おはよう日本



TX_WBX



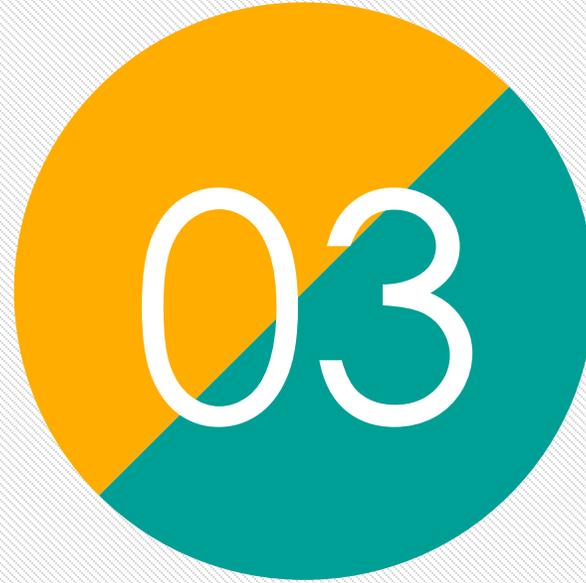
CX_Live news α



補足)

2023年：報道・情報番組・エンタメ関連など様々な切り口で取り上げられた

2024年：報道・経済番組を中心に取り上げられた



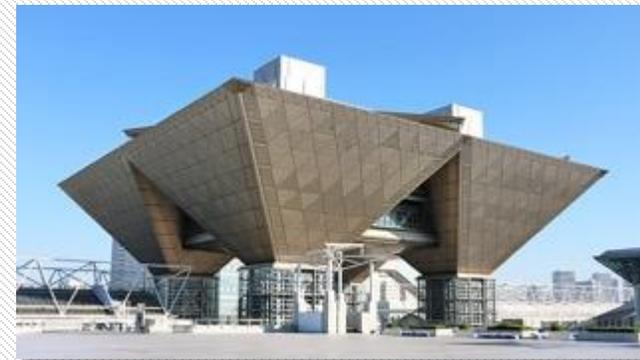
JAPAN MOBILITY SHOW 2025

開催概要

開催期間：2025年10月29日 水 – 11月9日 日

開催会場：東京ビッグサイト（東・西・南展示棟）

※大規模修繕工事対象ホール（東1-3ホール）を除く全館利用



日程	曜日	開催時間	名称
2025/10/29	水	8:00 - 18:00	プレスデー
2025/10/30	木	8:00 - 13:00	
		13:30 - 18:00	オフィシャルデー (オープニングセレモニー等招待者)
2025/10/31	金	9:00 - 19:00	特別招待日/ 障がい者手帳をお持ちの方の特別見学日
		13:30 - 19:00	
2025/11/1 2025/11/9	土 日	平日 : 10:00 - 19:00 土曜/祝日 : 9:00 - 19:00 日曜 : 9:00 - 18:00	一般公開日 (9:00 ~ 10:00は、入場可能な特別チケットをお持ちの方のみ入場可能)



jama
Japan Automotive Manufacturers Association

Japan Mobility Show

ワクワクする未来を、探しにいこう！

様々なモビリティ関連企業のブース出展に加え、
多くの来場者に楽しんでいただける、3本の柱を中心にした多面的なプログラムを企画中

1 「未来のワクワク」醸成プログラム

2 「モビリティカルチャー」共感プログラム

3 「ビジネス共創」推進プログラム

#FUTURE

- 役割 -
「モビリティの**未来の姿**」

- 目的 -

未来におけるモビリティの活躍する姿を通して、
日本の未来にワクワクを感じてもらい
JMS全体や世の中への共創機運の醸成

#CULTURE

- 役割 -
「モビリティ**そのもの**」

- 目的 -

四輪・二輪をはじめとした様々なモビリティ
の魅力に焦点をあて、モビリティ自体が
もたらしてくれる価値への共感

#CREATION

- 役割 -
「モビリティの**ビジネス**」

- 目的 -

日本経済を明るい方向へ向けていくために
モビリティ産業発展に資する仲間づくりと
企業間の共創を推進

お子様やご家族と一緒に楽しんでいただけるモビリティの総合イベント

#FUTURE



#CULTURE



#CREATION



Meet-up Box *an Future Session*

#KIDS



#FOOD



#EXHIBITION





従来の部門に加えて、IT・情報・通信・公共交通・インフラ
などの出展部門「モビリティ関連部門」を新設



参加メニューの紹介

プロモーション・ サポートメニュー

※費用や内容は今後変更になることがあります。現時点での予定としてご確認ください。

トークステージ協賛

○様々なモビリティに関わる皆様独自のトークコンテンツを実施いただけるステージ利用権利になります。

- 会場：西展示棟アトリウム特設ステージを予定
- 枠数：設定中
- 内容：実施内容・時間については、個別にご相談となります。

費用： **1,500,000円～**（税込）／枠



ピッチアンドアワード協賛

○スタートアップエリアにて実施するピッチコンテストにおいて、貴社の冠名称権利を設けたメニューになります。賞金の授与や、受賞企業とのコネクティング、審査会へのご参加などを予定しております。現状2枠予定。

費用： **10,000,000円～**（税込）／部門



ネットワーキングパーティー協賛

○JMSへ参加される企業様どうしの交流を目的にネットワーキングパーティーを実施予定です。ネットワーキングパーティーの主催権利に際して、参加企業の方とのネットワーキングおよび貴社独自のコンテンツの提供も検討いたします。内容に関してはご相談ください。

費用： **5,000,000円～**（税込）



※費用や内容は今後変更になることがあります。現時点での予定としてご確認ください。

アドボード/アドサイネージメニュー

○会場内に設置するアドボードやサイネージ広告

来場者導線上の目立つ場所に設置することで、
貴社の製品・サービスの認知獲得及びブースへの来場誘致を図ります。

費用：

500,000円～ (税込)



公式アプリ/サイトバナーメニュー

○来場者が自身のスマートフォンに入れる公式アプリ内でバナーを掲出できる協賛メニュー

貴社サイトに誘引することで、出展内容の認知・理解獲得やブースへの来場誘致を図ります。

参考) 2023年の「推しモビ図鑑」は約20万ダウンロードがありました。

2025年はJMS公式のイベントアプリへと進化を予定し、40万ダウンロードを目指しております。

費用：

500,000円～ (税込)

2023年参考



スポンサー



プロモーション・サポートメニュー

お申込みはこちら

申込フォーム

coming soon ...
(25年4月中旬予定)

以上はまだ一部になります。

その他、「こんなことができないか」などございましたら、柔軟に企画いたしますので、
以下、お問い合わせフォームよりご連絡お願いいたします。

プロモーション・サポートメニューに関するお問い合わせ

JAPAN MOBILITY SHOW 2025 企画コンテンツお問い合わせフォーム

以下URLよりアクセスいただき、質問項目にご記入の上、フォームよりお問い合わせください。

<https://forms.office.com/r/7yRxb9aYCM>

※お問い合わせをいただいた日より3営業日以内にご連絡をさせていただきます。

お問い合わせ内容によっては、回答にお時間を頂戴する可能性がありますので、予めご了承ください。

※当事務局からのメールが届いていない場合は、

support@jms2025.comからのメールを受信できるよう設定していただき、再度ご連絡をお願いいたします。